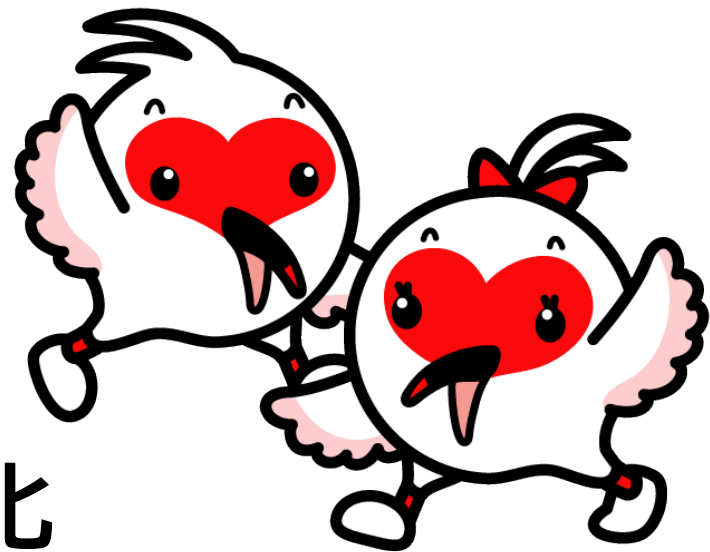
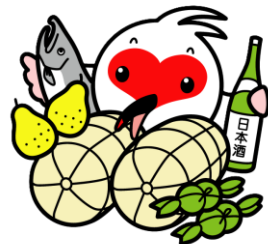


次世代校務DX環境が 学校現場にもたらした変化



新潟県教育庁義務教育課
教育情報化推進担当 寺田 寛

- 1 これまでの歩み
- 2 実現しなかったこと、実現したこと
- 3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化
- 4 次世代校務DXに向けて
- 5 まとめ



1 これまでの歩み

次世代校務DX環境の整備に向けた工程

各工程における実施内容例

年度

実施内容

運用

クラウド型校務支援システムの共同利用

R7～

共同利用開始

構築

クラウド型校務支援システムの共同調達

R6

文部科学省実証事業
連絡協議会
ワーキング（要件定義）

仕様検討

要件策定

RFI実施

費用按分
シミュレーション

RFP実施

次世代校務DX
環境の運用に係
る規定改訂

次世代校務DX
環境の研修計画

計画策定

クラウド型校務支援システムの共同調達・共同利用に
向けた計画の策定
（例：共同調達・共同利用の対象範囲、共同利用条件、調達方式、
スケジュールの検討）

企画/構想
立案

クラウド型校務支援システムの共同調達・共同利用に
向けた基本方針の策定
（例：目指す姿の策定、共同調達・共同利用による次世代校務DX環境
の全体像の定義）

現状把握※4

実態調査
（教職員の業務）

実態調査
（ネットワーク/
セキュリティ）

実態調査
（校務支援シス
テム）

実態調査
（帳票）

実態調査
（教育情報セキュ
ボリ等の規定）

実態調査
（共同調達・共
同利用の意向）

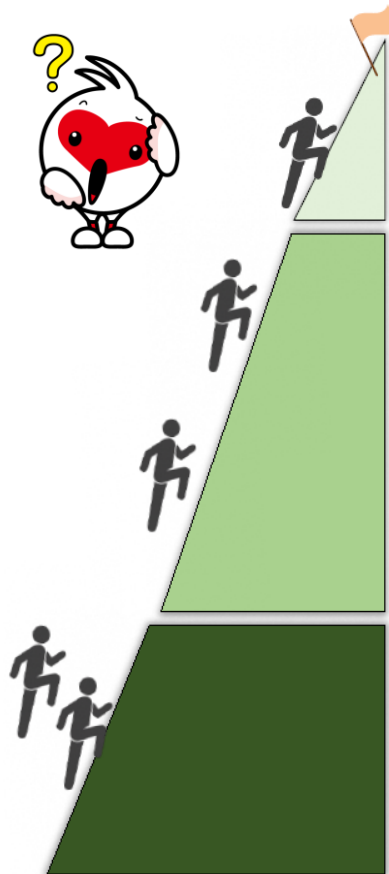
体制整備※4

協議会※3の設置又は運営

※3:次世代校務DX環境の整備を議論するための会議体を指す。

R5

連絡協議会
市町村ヒアリング
意見聴取、Q&A
Web会議
RFI（3回）
方針提案、他県調査



1 これまでの歩み



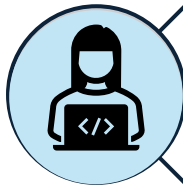
4社の異なるベンダーにより提供

教員は人事異動に伴い新たなICT環境や業務フローに対応しなければならず、その負担が大きい。



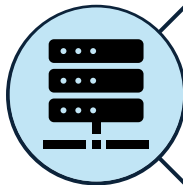
市町村ごとに独自にカスタマイズされている

転校や進学時に児童生徒データの引き渡しが困難なケースがあり、データを有効活用できない。



未整備4自治体

システムを利用した校務処理が行えない



学校のネットワークが学習系と校務系で分離

円滑なデータのやり取りができず、データを活かした教育の高度化に繋げることができない。

1 これまでの歩み



導入前(令和5年度末)

状況	自治体数
自治体 独自	23 (4社)
R6 導入	3
未導入	4



令和8年度

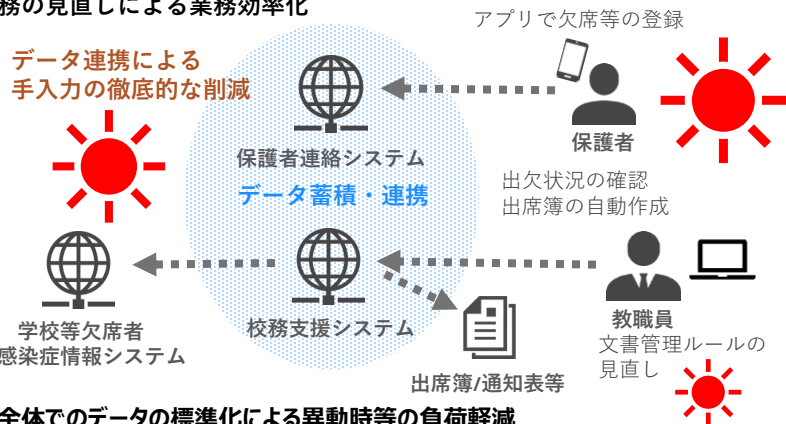
状況	自治体数
共同 利用	13
自治体 独自	17 (R9予定: 8)
未導入	0

- ・R6実証事業→12自治体(未導入3自治体を含む)
- ・R7構築 → 1自治体(未導入1自治体)

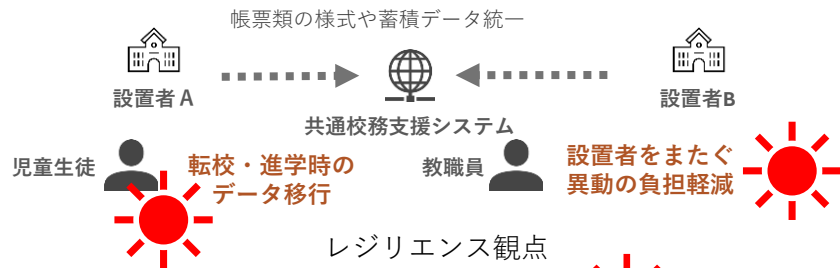
2 実現したかったこと、実現したこと

働き方改革観点

■ 業務の見直しによる業務効率化



■ 県全体でのデータの標準化による異動時等の負荷軽減

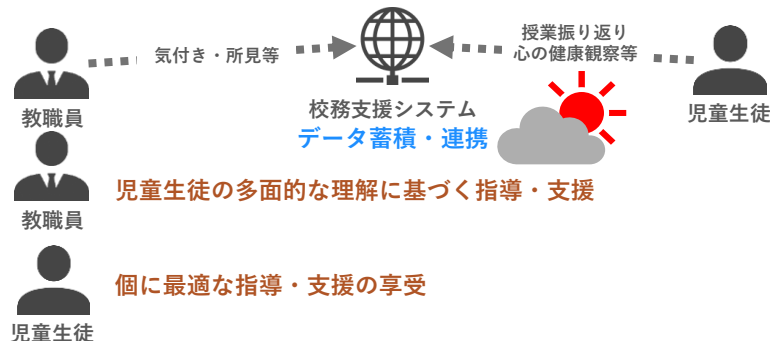


■ 有事を想定した業務継続性の確保 (ロケーションフリーによる働き方の柔軟化)

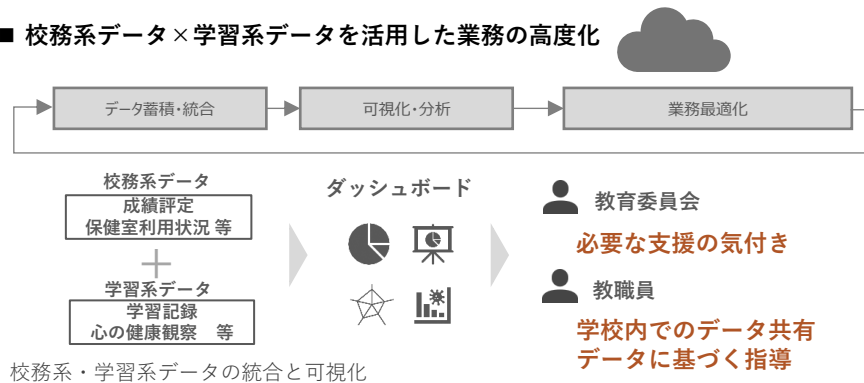


データ連携観点

■ データー一元化による見取りや指導・支援の質向上



■ 校務系データ×学習系データを活用した業務の高度化





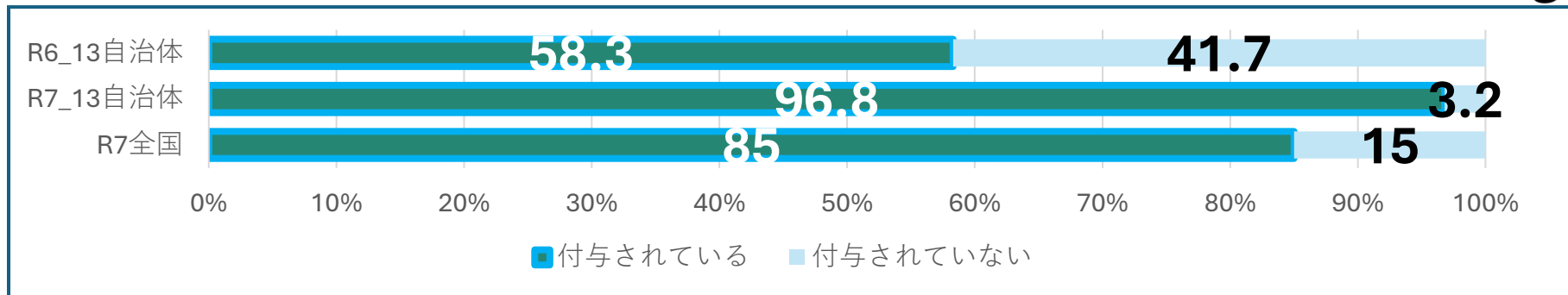
各校の肯定的回答が顕著だった項目

- ① 教職員個人メールアドレスの付与・利用
- ② 欠席・遅刻連絡のクラウド活用
- ③ CBTの活用
- ④ 保護者アンケートのクラウド活用
- ⑤ 学校徴収金のオンライン化
- ⑥ 職員会議等の資料のペーパーレス化

3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



①教職員個人メールアドレスの付与・利用



県共通ドメイン

〇〇@edu-Niigata.ed.jp

メールアドレス

メールの履歴データ

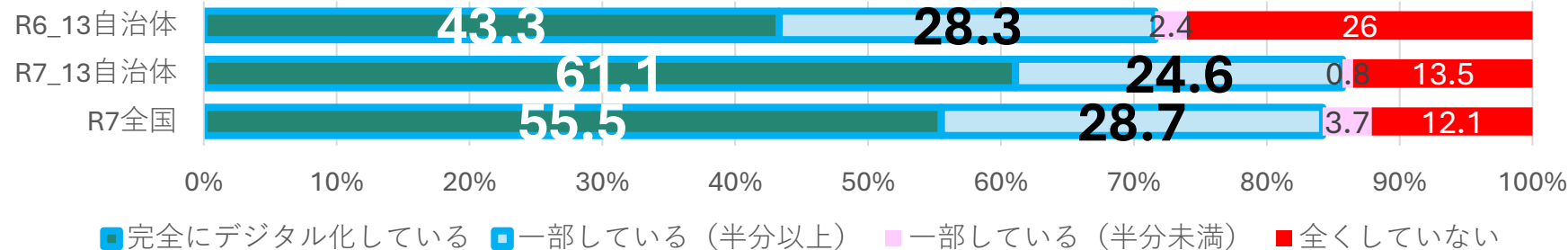
教材等の個人データ

※セキュリティポリシーで範囲を制限

3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



②欠席・遅刻連絡のクラウド活用



転記あり
 $90000 \times 1\text{分} = 1500\text{時間}$

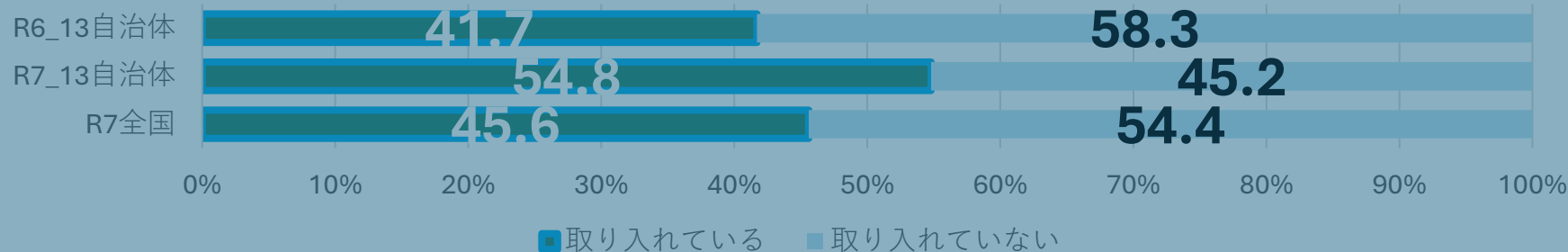
転記なし
 $90000 \times 10\text{秒} = 250\text{時間}$

8時間/校の削減

3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



③CBTの活用

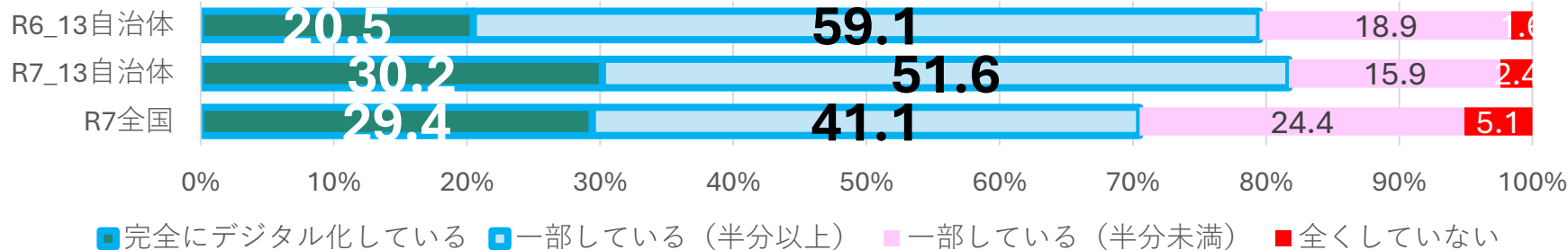


次世代校務DX環境と関連した情報を持ち合わせておらず...
今後情報収集を進めていきます。

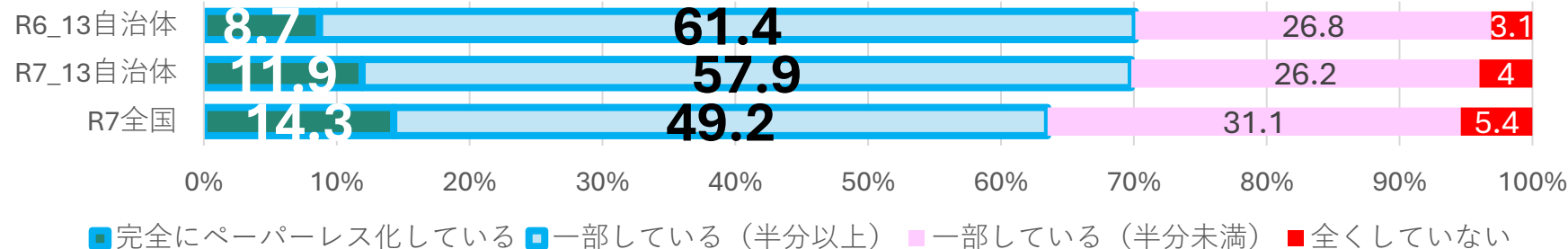
3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



④-1 保護者アンケートのクラウド活用



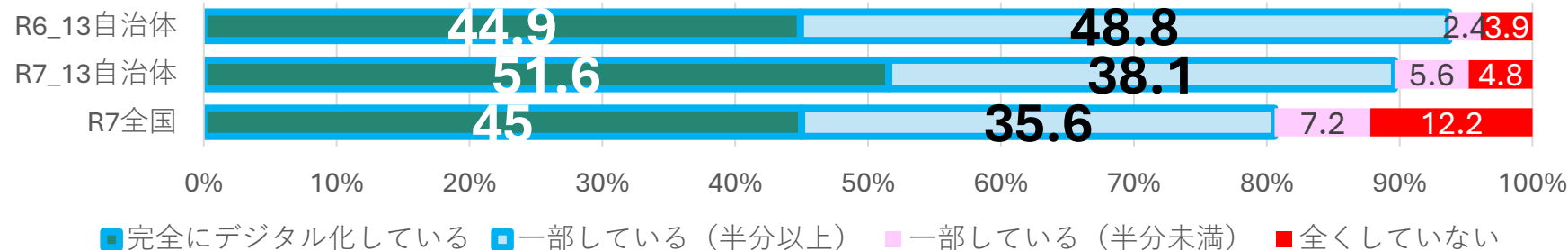
④-2 児童生徒アンケートのクラウド活用



3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



⑤学校徴収金のオンライン化



項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
口座振替	83.1	インターネットバンキング	26.3
校務支援システム機能	7.3	コード決済システム	4.2
集金代行サービス	1.3	公費負担	2.1

3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



令和7年度

新潟県学校ICT環境整備推進協議会

1人1台端末共同調達部会
(GIGAスクール運営支援センター)

次世代の校務デジタル化推進
連絡協議会

共同利用
WG

データ
利活用WG

システム
連携WG

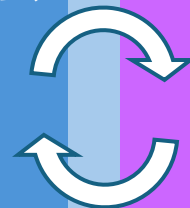


令和8年度

新潟県学校ICT環境整備推進協議会

1人1台端末
共同調達部会

次世代の校務
DX推進部会

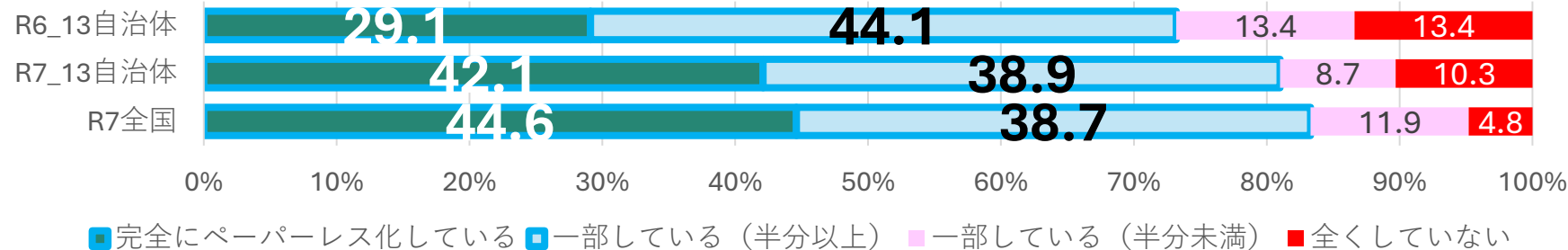


- ・新潟県学校ICT環境整備推進協議会に内包する会議体とする。
- ・1人1台端末共同調達部会と連動して「校務DX計画（自治体HPで公表中）」の推進を図る。

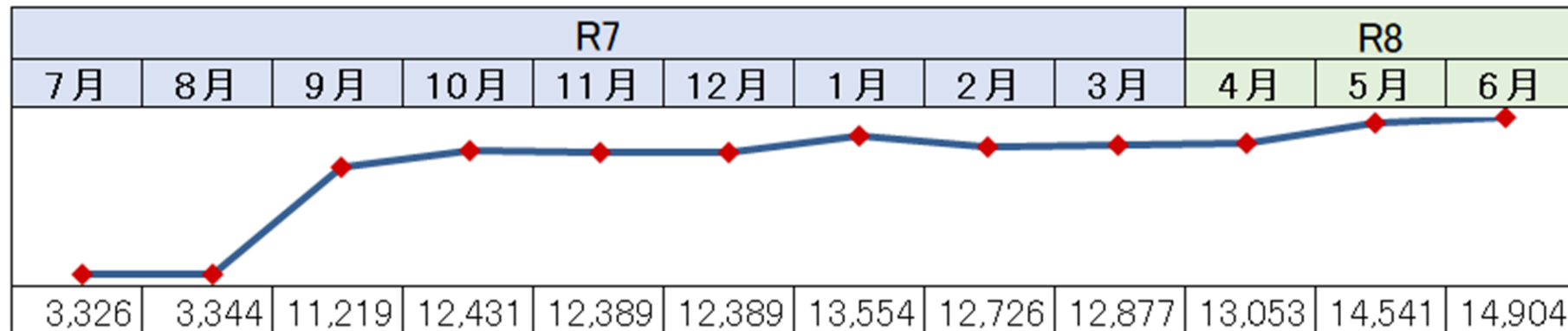
3 GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストに見られる変化



⑥職員会議等の資料のペーパーレス化



(参考) クラウド上で共有されたファイル数

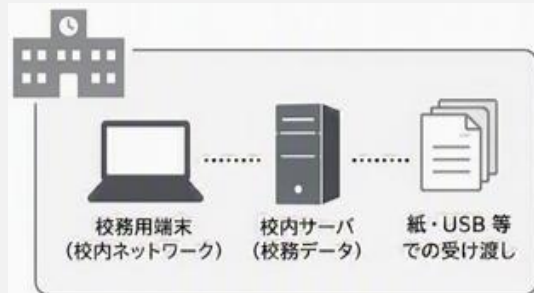


4 次世代校務DXに向けて



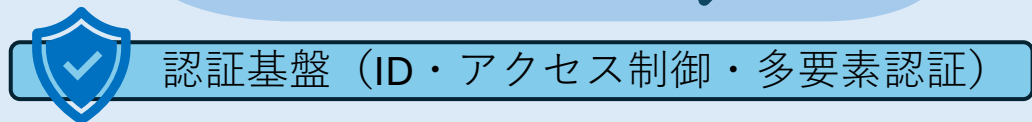
教員の柔軟な働き方を実現

従来の環境
(アクセスは職員室)



場所の制限
持ち出しのリスク

次世代校務DX環境
(いつでも、どこでも、安全に)

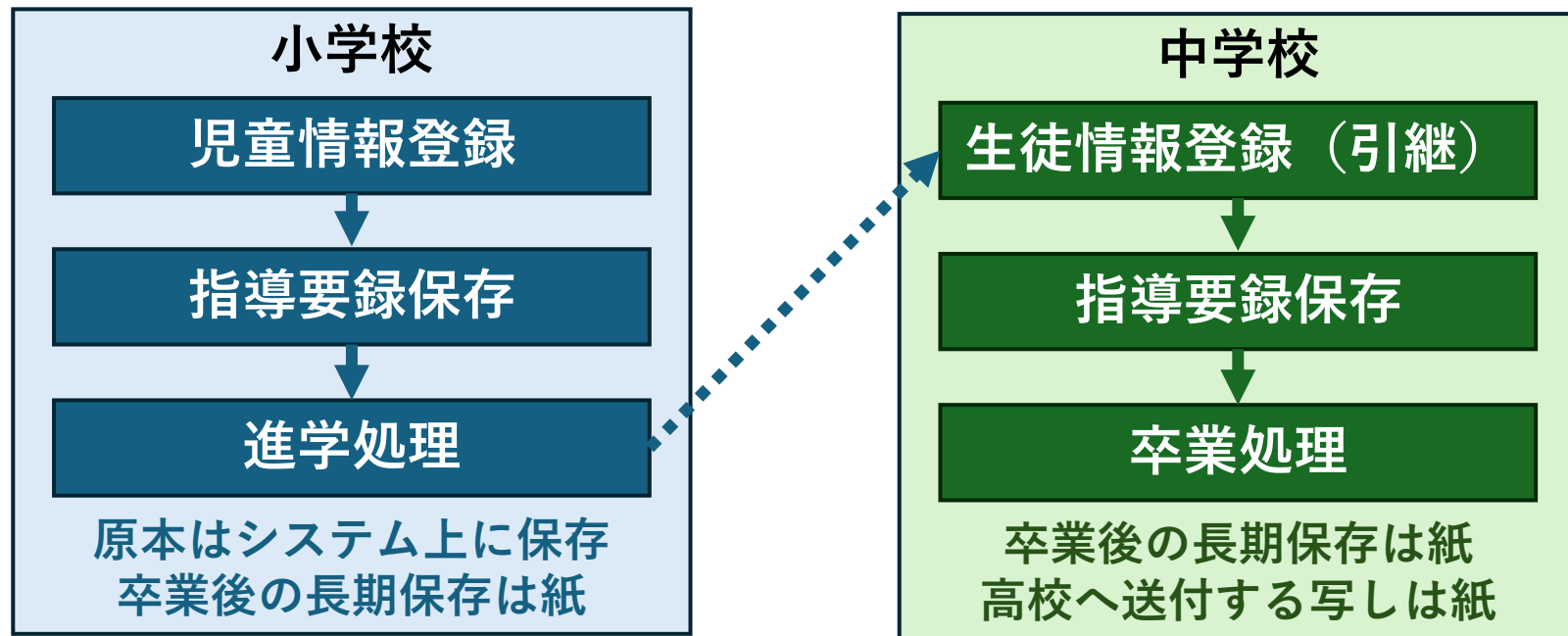


場所を選ばず、安全に同一環境にアクセス

4 次世代校務DXに向けて



表簿等の原本デジタル化(例:指導要領)

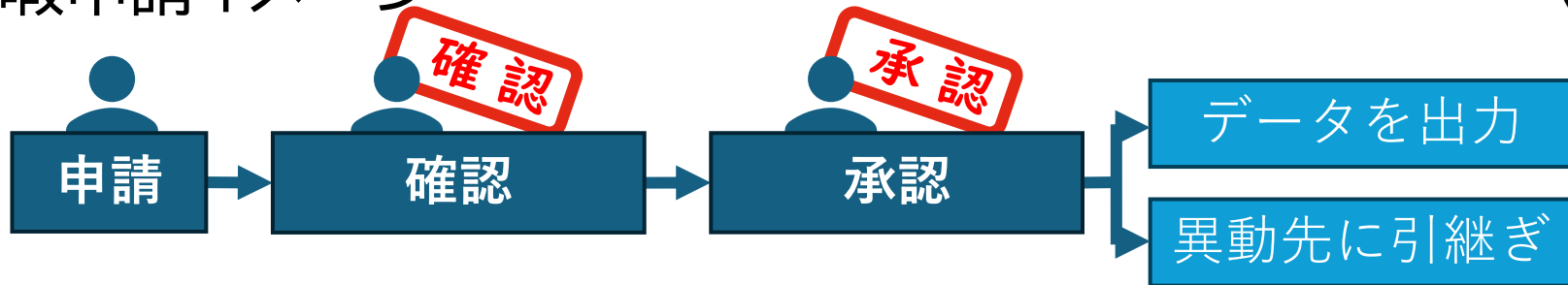


保管スペースの縮減、検索性の向上、データの活用

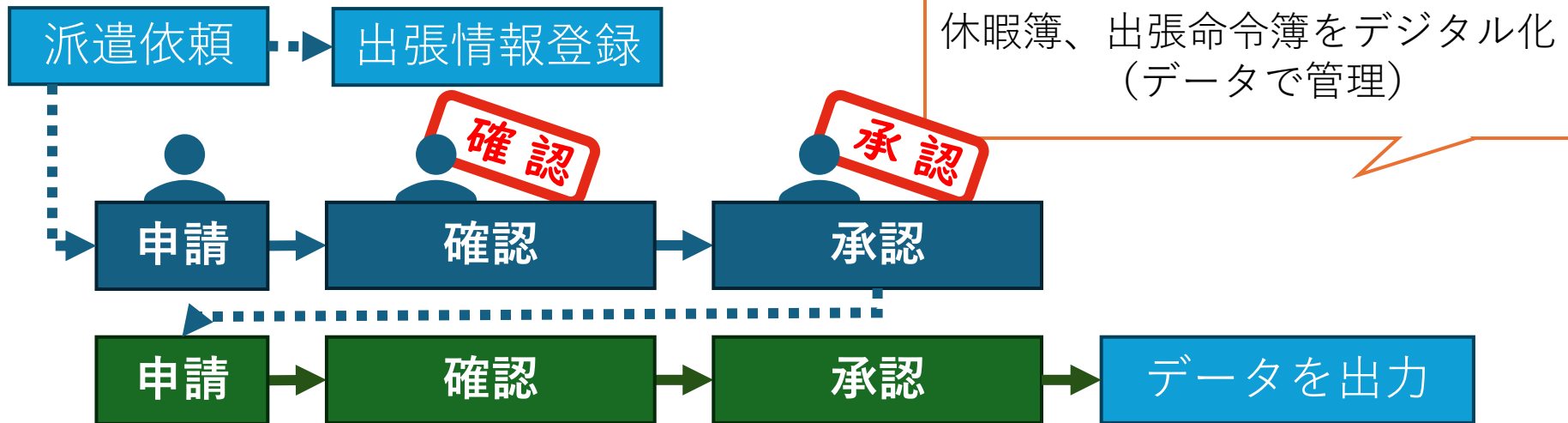
4 次世代校務DXに向けて



休暇申請イメージ



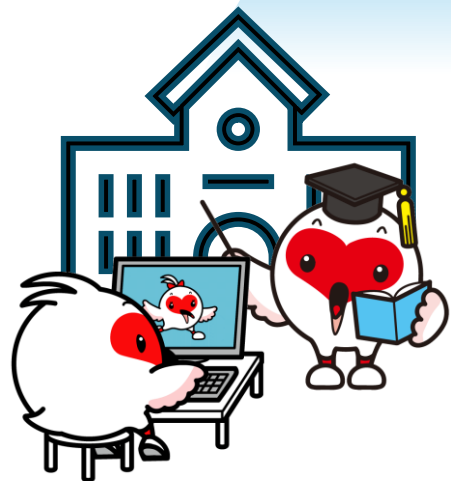
旅費申請イメージ





データを根拠とした授業改善、教育の質の向上

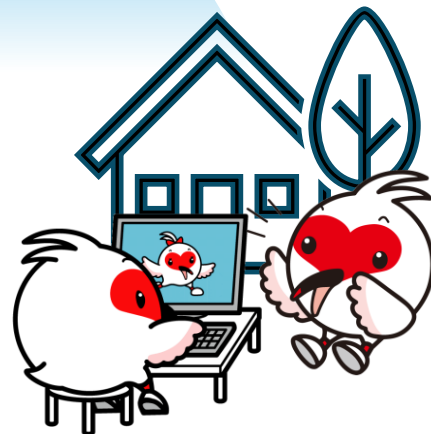
学習データの蓄積・活用



安心して使える
環境整備



活用スキルの習熟





運用開始段階の成果

欠席連絡のデジタル化や保護者対応の効率化など具体的な業務の変化が数値で確認できる。

デジタル化が難しい項目

FAXや押印など、必要な範囲で使用せざるを得ない。

次の段階への展望

表簿の原本デジタル化やサービス管理のデジタル化、業務フローの提案により、目指す方向性を示していく。

DXの本質

構築・導入ではなく、学校の仕事の在り方を変えること、デジタル化によって蓄積されたデータを活用し、教育の質を向上させていく。